



# 子どもの事故を防ごう！

## ～月齢・年齢別でみる起こりやすい事故～

現在わが国では、不慮の事故が子どもの死亡原因の上位となっています。事故の内容は年齢によって異なりますが、周囲が気をつけることで防げるものが大部分です。発育過程の中で、いつ頃、どんな事故が起こりやすいか知っておくことは、事故の予防の上で大切です。

### 寝返り前（～4か月頃）

- ・吐いた物による窒息
- ・熱いミルクでのやけど
- ・ベッドやソファからの転落
- ・枕や柔らかい布団での窒息
- ・低温やけど（ホットカーペット）
- ・入浴中のおぼれ



ボクたちが事故やけがをするのは、ほとんどがおうちの中。ボクたちは危険な物がわからないから、大人の人は周りにある危険に気づいてね！

### 寝返りができる頃（4～6か月頃）

- ・小さな物の誤飲
- ・周りのものにぶつかる
- ・ベッドやソファからの転落

### おすわり・ハイハイ・つかまり立ちができる頃（7～11か月頃）

- ・階段や椅子からの転落
- ・小さな物の誤飲
- ・浴槽や洗濯機でのおぼれ
- ・ポット・炊飯器の蒸気や暖房器具でのやけど

### 立ち歩きができる頃（1～2才頃）

- ・一人歩きによる交通事故
- ・転落
- ・おぼれ
- ・ドアに指を挟む
- ・刃物によるけが
- ・化粧品や薬の誤飲

### 事故予防8つのチェック項目

**その1** 誤飲・窒息：口径39ミリ以下の大きさのものは、床面から1メートル以上の高い場所に置く

**その2** 気管支異物：3歳になるまで乾いたピーナッツ類は食べさせない

**その3** 階段からの転落防止：転落防止の柵をつける

**その4** ベランダからの転落防止：踏台となる物（プランター等）を置かない

**その5** 浴槽での溺水：残し湯はしない、浴室に簡単に入れない工夫

**その6** やけど：給湯温度の設定、熱源を遠ざける、花火に注意

**その7** 自動車の事故：チャイルドシートの使用、車中に乳幼児を1人にしない

**その8** 自転車の事故：ヘルメットの着用、足のガード、自転車への乗せ方

## 中毒110番（財）日本中毒情報センター

もし子どもが誤飲してしまったら、毒物（薬品、有毒植物など）の種類によって応急手当の方法が違います。下記にて、無料で情報提供しています。（通話料金はかかります。）

まず気持ちを落ち着けて行動しましょう。

**大阪中毒110番** ⇨ ☎ 072-727-2499（365日24時間対応）

**つくば中毒110番** ⇨ ☎ 029-852-9999（365日9時～21時）

**たばこ専用回線** ⇨ ☎ 072-726-9922（365日24時間テープ対応）

※中毒110番では、食中毒（細菌性）、慢性の中毒、小石・ビー玉などの異物誤飲については受け付けていませんので、最寄りの医療機関へご相談ください。